

I-09

2022年 4月 15日

## 2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 Oh! はやし

代表者・役職名 氏名 代表 戸澤 司

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

お囃子を蘇らせ、地域の繋がりを強く!

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

国分寺市北部は江戸時代から新田開発が進み、地元の鎮守様に「共益囃子」があり、地域の農家・住民の心のよりどころとなっていたが、近郊農業の衰退につれ、お囃子自体も衰退し、ついに解散に至った。2018年に国分寺市公民館運営審議会から「地域づくりを目指す公民館の在り方」の諮問・答申を受け、並木公民館運営サポート会議メンバーの有志が、お囃子の復活と地域とのつながりを目的に、同年夏「Oh! はやし」を設立した。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

昔からこの国分寺市北部に住んでいた農家の方々のほか、最近になってこの地区の宅地化が急激に進み、若い年齢層の家族が移住してきている。住んでいる人の数は増えたが、住民同士の繋がりはやや希薄になりつつある。こんな時こそ、昔からこの地に伝えられてきた「お囃子」をもう一度蘇らせ、その力を借りて「地域の輪」を拡げ、繋がりをより強いものにしていきたい。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

原則的には月2回、国分寺市立並木公民館の一室を借りて、「共益囃子」に在籍されていた先輩方や、近隣の本多八幡神社の「本多囃子」のメンバーさんなどの指導を受け、練習を重ねている。設立当初は篠笛こそ全員購入しそれぞれに吹く練習をしていたが、その他の楽器と名の付くものは何もないので、孟宗竹を30cm位の長さで切ったものを太鼓代わりに叩くことから始まった。そのうち、国分寺市内の他グループから小太鼓2基を借用でき、練習にさらに力が入ってきた。そうした折に真如苑助成事業で24万円の助成金を頂き、長太鼓1基、小太鼓(締め太鼓)2基、拍子木、鉦などを購入でき、「お囃子」チームの形になってきた。ちょうどそのころからコロナの感染が始まり、約1年間は活動の休止を余儀なくされた。2021年度になって、公民館の使用も緩和されてきたので、練習を再開、以降地域の、或いは公民館の小さな催しに出演し、これまでの練習の成果を見せられるようになってきている。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「お囃子」グループへのメンバーとしての参加はまだ非常に少ないが、催しへ参加することで、太鼓・鉦の音に昔を懐かしみ、魅せられ、見に来た人たちの関心はずいぶん高くなってきていることは実感している。特に子どもたちの目の輝きは私たちにやっていることの喜びをあたえてくれる。と言っても、地域に広く浸透しているかというところはまだ感じられない。2022年5月に並木公民館で開催される「第31回並木公民館まつり」には、「Oh! はやし」として初めて参加し、舞台発表する。これには2021年度の樹助成金で購入した「お囃子のための衣裳」を初めて着て出演する。正装した「Oh! はやし」のお披露目となる。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

とにかくメンバーを増やしたい。太鼓だけでなく、笛にも、鉦にも、拍子木にも人がいる。これからは踊りも必要になってくる。それには「踊り手」が必要、大人の踊り手、子どもの踊り手、1人でも2人でも参加してほしい。いろいろ手を変え、勧誘はしているがまだこの人材の問題は実績が上がってないのが実情。人が揃えば、演奏品目も増え、演奏内容も充実して、活動範囲も、大幅に広がる。ということは、地域の人々の中に入り込め、目的としている「地域の輪」拡充につながる。

#### 7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

# Oh! 囃子

2022(令和4)年3月



練習風景（締太鼓、長胴太鼓）



練習風景（「仁馬」踊り）



先生を囲んで



お祭り法被

